

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。
山口さんの小学校の俳句クラブでは、校内俳句コンテストを行います。次は、コンテストの【お知らせ】と、冬木先生への【お願いの手紙】です。

【お知らせ】

俳句コンテストのお知らせ

文学の秋となりました。俳句クラブでは、俳句コンテストを行います。みなさん、ぜひ、おうぼしてください。選句は、青空俳句会の冬木立子先生にお願いしています。

おうぼ 9月10日(木)～9月18日(金)

- ❖ ① じさくの俳句で、一人1句です。
- ❖ おうぼ用紙に書いて、各学年のげん関に置いている、おうぼ箱に入れてください。

入選句発表 10月8日(木)

- ❖ 給食の時間に、放送で入選句を発表します。

えひめ小学校 俳句クラブ

(コンテストのしつ間は、6年口組の山口力まで。)



【お願いの手紙】

(②) 季節になりました。

とつ然のお手紙ですみません。わたしは、えひめ小学校の俳句クラブでクラブ長をしている山口力です。今度、校内俳句コンテストを行います。その選者について、青空俳句会の秋山洋子さんに相談したところ、冬木先生をしようかいしてもらいました。秋山さんからお話があったと思いますが、冬木先生にお願いがあります。

そのお願いとは、入選句を選んでいただくことと、俳句の感想やアドバイスをいただくことの二つです。九月二十三日(水)までにおうぼ俳句を送りますので、十月六日(火)をめどに、入選句を十句選んで、おうぼ俳句の感想やアドバイスなどを書いて送っていただけませんか。

冬木先生は、愛媛県内でも指折りの俳句の先生で、たくさんの門下生をかかえていると、秋山さんから聞きました。おいそがしいとは思いますが、(③)。

九月九日

B

A

一 山口さんは、【お知らせ】の中の——線部①「じさく」を漢字で書くことにしました。——線部①を漢字に書き直しましょう。

二 山口さんは、【お願いの手紙】の中の（②）に、季節を感じる言葉を書いていきます。その内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでのの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア さくらの花びらがまう

イ ひまわりの黄色がまぶしい

ウ すきとおる夜空に月が美しい

エ 白い雪に心がおどる

三 山口さんが【お願いの手紙】の中の（③）に書いている内ようを、（③）の部分までの手紙の内ようから考えて書きましょう。

四 【お願いの手紙】の中の 、 に書く内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでのの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 冬木立子先生

イ 秋山洋子様

ウ 青空俳句会のみなさん

エ 山口力

五 次は、山口さんの【お願いの手紙】について、副クラブ長の西内さんが語った言葉です。【西内さんの言葉】の中の——線部の内ようが書かれている一文を、【お願いの手紙】の中からさがして、最初の五文字を書きましょう。

【西内さんの言葉】

おたがいに知らない、初めての相手への手紙だということをよく考えているのがよいと思います。例えば、急に手紙を出して、びっくりさせてしまったことを相手にあやまる表げんや、どのようにして冬木先生のことを知ったのかという点についての説明が書かれています。そうすることで、手紙をもらった相手が、だれからの、何の手紙なのかと不安にならずに、安心して手紙を読めるのではないかと思います。



16

国語おう用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

二

三

四

A

B

五

一 自作

二 ウ

三 例…どうぞよろしくお願いします

四 A エ

四 B ア

五 その選者に